



# Lina LOHAS通信



9月21日(金)に、“地球交響曲/ガイアシンフォニー第一番”が静岡市民文化会館で上映されました。ガイアシンフォニーを鑑賞して、それぞれに様々な感じ方やとらえ方がありました。今回は、スタッフの感想を載せてみます。

この映画が作られた1992年に、すでに“地球の未来への危機感”が叫ばれていたのです。それから15年の今、地球の環境問題はより悪い方向へ進んでいます。“地球の未来”は私たち人類の“想像力”で良くも悪くも決まってくるのです。本来、母なる地球は、人・動物・植物に有り余る程のエネルギーを与えてくれているのに、人類はそのありがたさを忘れて、動物や植物のことも考えず、自然をわがままにして変化させてしまいました。しかし、ここに登場している6人の人たちは、その自然と一体化して、地球を優しい心と目でとらえ、未来を築いていく素晴らしさをメッセージとして送ってくれました。そのひとりひとりが、どなたも優しく輝く目を見開き、穏やかないい顔をしていましたね。【渡辺】

この映画を観ると、いじめや人種差別、戦争といった同じ地球上に住む者同士が争うという人間の我欲そのものに対する行為になんて馬鹿なことをしているのだろうと改めて感じ、悲しくなるほどでした。全世界の人々が、この映画を観て、何かを感じとってくれば、何かが変わるのではないかとさえ思いました。「人間が勝手に地球上に境界線をつけているだけであり、地球そのものはひとつしかない」という元宇宙飛行士の方の言葉が忘れられません。地球上に生きとし生けるものとして、今まさに滅び行く地球を守り、また、古代の人々の様に、地球上に生を与えられ、生かされているということを常に忘れずに、太陽や自然などに感謝して日々過ごしていかなくては...と私自身深く反省しました。私は、特に象のエレナと登山家の方の生き方がとても印象的でした。それにしても、この映画に出会えた私は本当に幸せ者だなあと感じます。日本に龍村仁さんという人がいてくれて、こういった映画を創ってくれて本当に良かったなあと感謝の気持ちでいっぱいになりました。特に今の政治家や子供達には、絶対観て頂きたい映画です！きっと人生観が変わるはずですよ！【佐野】

ガイアシンフォニーのようなドキュメンタリー映画は今までに見たことがなく、今回『第一番』を鑑賞できたことが、とても大きなものになりました。様々な分野で活躍している方たちですが、どの人にも共通していたのが、優しい表情と人間の温かさだと私は感じました。人や自然に対する心からの優しさと思いやりが、そのまま顔の表情に表れていて、その表情を見ているだけで、自分の汚い心が洗われたような気持ちにすらなりました。人間も、他の動物や植物や自然と同じように、地球に住まわせてもらっている立場なのに、それが当たり前のようになり、感謝の気持ちが失われているのがとても残念に思います。私自身も、感謝の気持ちとは何か、改めて考えてみようと思います。【橋本】

前回は引き続き、ガイアシンフォニー第二番が、静岡市民文化会館中ホールで上映されます！今回も、ご招待券を10名様に差し上げたいと思います！



= 静岡設計監理協同組合創立20周年記念事業 =  
『地球交響曲 / ガイアシンフォニー第二番』



主催：静岡設計監理協同組合

後援：静岡市・静岡市教育委員会・静岡新聞社・静岡放送

会場：静岡市民文化会館 中ホール

日時：平成19年11月2日（金）

【開場】18：00 【開演】18：30

ご招待券をご希望の方は、10月26日（金）までに、リナ・グリーンまでお電話にてお申し込みくださいませ。 今回も、多数のお問い合わせが予想されますので、お早めのご連絡をおすすめいたします。来年の一月頃、第四番も上映されるとのことです。またその都度お知らせいたします。



ガイアシンフォニーシリーズは、21世紀の到来を前に、地球の未来にとって示唆に溢れたメッセージを持つ人々のオムニバス映画です。登場人物はいずれも、現代の常識にとらわれず、素晴らしい未来を築きつつある人たちです。今生きている我々ひとりひとりが“心”にどんな未来を描くかによって、現実の地球の未来が決まってきます。

## 地球交響曲 / ガイアシンフォニー第二番 登場人物

### ジャック・マイヨール【海洋冒険家】

1976年、素潜りで水深100mを超える記録をつくり、人生の生命力に関する科学の常識を破りました。映画『グランブルー』のモデルになっています。

### 14世 ダライ・ラマ法王【チベット仏教最高指導者】

初代ダライ・ラマは15世紀に出現。代々転生を重ね、現法王は第14世。2歳で13世の転生として認められ、以降チベット仏教最高指導者として厳しい修行を重ねました。

### フランク・ドレイク【天文学者】

宇宙から降り注ぐ様々な電波の中から、人工的な電波信号を見つけ出す基本的な方法や、地球外文明の数を見積もる式となる『ドレイク方程式』の生みの親です。

### 佐藤 初女【森のイスキア主宰】

「心だけは人々に与えることができる」と思い立った佐藤さんは、自宅を開放し、30年に渡り心の病んだ人々を受け入れてきました。やがて岩木山麓に『森のイスキア』が、1992年に完成。森の中に安らぎの場をつくりたいという佐藤さんの夢が実現しました。

L i n a   G r e e n

TEL 054-205-0308

HP <http://linagreen.com>